



そ が べ あ き と
曾 我 部 暁 人

生年月日 1980年1月大阪府生まれ
最終学歴 2005年神戸大学大学院自然科学研究科建設学専攻修了
業務経歴 2005年(株)東畑建築事務所入社
現在、東京事務所設計部
●担当した主なプロジェクト
2009年 横浜ブルーアベニュー
2011年 みなとみらいグランドセントラルタワー
2013年 (仮称)横浜市中区北仲通5丁目計画

■青年技術者のことば

実務に携わるようになり約10年が経ち、学生時代に恩師より聞いた「景観10年、風景100年、風土1000年」という言葉を思い返しました。当時は何気なく聞いていましたが、今思うことは、建築の「時間」についてです。自分が携わった建築には、いい歳を重ねて、長く使われる建築になってほしいと願っています。設計者にとっては、竣工すれば仕事としては終わりのかもしれませんが、建物にとっては竣工がスタートになります。竣工時点から、時とともに味の出る、深みの増す建物になってほしい、建物利用者や地域の人々に長く親しまれる建物であってほしい、設計している時にはそんなことを考えて設計しています。その先に、建物が地域の景観や風景の一つとなっていくのではなかろうかと考えています。

風土の1000年は難しくとも、できるだけ長く使われ、親しまれる建築が、私が考える建築の目標とするところです。それはつまり、古くも新しくもならない普遍的な建築設計こそが理想ということになります。その普遍性を持って、その土地の地域性や環境を読み解いて、普遍性を変化・発展させていく。これが、将来にわたる課題になるうと考えています。

■すいせん者

福林 香
株式会社東畑建築事務所
東京事務所 設計部長



東側外観全景

みなとみらいグランドセントラルタワー

横浜市区 2011年

みなとみらい21地区に位置するオフィスと商業からなる複合施設である。先進的な環境技術や防災技術を採用しながら、新たな街並みや都市景観の形成に寄与する、都市型環境建築の実現を目指した。高層棟前面の広場には、豊かな植栽、水や港を感じる水景空間やアートを随所に配置し、潤いある憩いのパブリックスペースを創出した。外装の水平ルーバーはライトシェルフとして機能しながら、高くなるほど密度を疎にして、空にのびゆくイメージを表現し、夜間には、ライティングによる都市景観演出に取り組んでいる。



東側コーナーより広場をのぞむ



エントランスプロムナード



オフィスエントランスホール

■都市環境共生・景観形成への取り組み

